ひよっこれぽ

『インスリン療法中の患者対応』研修

2023 年

新人看護職員ローテーション制度対象者へ 7/5、7/10、7/12、7/14、7/24、7/26、7/28、8/18 に研修を行いました

講師
糖尿病看護認定看護師
糖尿病診療支援センター
山本広美副看護師長

目的：持続インスリン静脈内注入や低血糖に関する知識を深め、低血糖時の対応を理解する

目標：1. 持続インスリン静脈内注入に関連した知識を習得できる
2. 低血糖時の観察ができ、模擬患者の適切な対処ができる
3. 先輩看護師や医師への報告・連絡・相談ができる
4. インスリン療法中の患者の安全な対応を具体的に述べることができる

事前課題

持続インスリン静脈内注入に関連した知識、患者の安全な対応等の知識を深めました

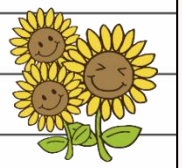
入院中の血糖管理目標

血糖値 ～ mg/dL を目標とする。

インスリン、SU剤、グリニド薬といった低血糖リスクの高い薬物療法がある場合は、血糖値 ～ mg/dL を目標とする。

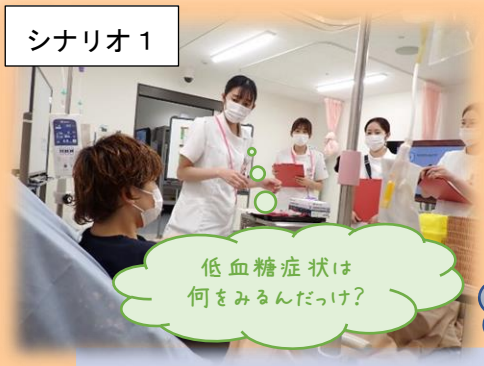
当日のミニレクチャー

- 入院中の血糖管理目標
- 持続インスリン静脈内注入の適応
- 持続インスリン静脈内注入作成方法
- インスリン注射指示および実施記録の6rightsの確認方法
- 低血糖症状
- 低血糖対応



事前課題で深めた知識をもとにシミュレーション演習を行って実践に活かす知識と技術を身につけました!!!

シナリオ１



もっとよくするには…
- 他の低血糖症状を観察する
- 指示に従ってインスリンを止める
- 50%ブドウ糖 20mL を依頼する

retry

シナリオ２

もっとよくするには…
- 点滴等の接続部を確認する
- 患者を触って観察する
- 報告時に「至急です」と伝える

retry

シナリオ３

もっとよくするには…
- 血糖値を再検する
- 低血糖時にインスリン注入を続けると、重症低血糖等に繋がるリスクを説明する
- 柵をあげる等の安全対策をする

受講者のまなび

・インスリンはハイリスク薬のため、患者さんにとって悪影響を及ぼす可能性が高いので指示を十分に確認して適切に対応できるようにしたいと思いました。
・低血糖症状や、血糖値目標、血糖値の経時的な観察の必要性について実際に演習をしながらできた。そのため自分がどのような行動をすればいいのかのイメージができました。

研修中の様子

優しく手を添えて対応していました

患者さんに視線をあわせて話すことができていました

部署の皆様へ

今回の研修では、持続インスリン静脈内注入中の低血糖時は、インスリンの停止を最優先に行うよう説明しています。3 つの異なるシナリオで演習し低血糖時の対応を学んでいます。
低血糖時の観察と、アセスメントをふまえた報告・連絡・相談を学んでいますので部署で実践できるようこれまで同様今後も支援をお願いします！

報告者：看護キャリア支援室　堀田ほづみ・下釜聖子